

令和元年
龍ヶ崎市議会
第4回議会報告会・意見交換会
開催結果報告

1. 開催日時・会場・参加者数	P 1
2. 議会報告会の概要	P 1
3. 意見交換会の概要	P 2～P 3
4. 議会報告会に対する質疑応答（要約）	P 3～P 5
5. 意見交換会の主な内容（要約）	P 6～P 11
6. 意見等の取扱いについて	P 11
7. アンケート結果	P 12～P 15

1. 開催日時・会場・参加者数

- ①日 時：令和元年11月17日（日）午前10時00分～11時55分
- ②会 場：龍ヶ崎市役所附属棟1F 会議室
- ③参加者数：20人

2. 議会報告会の概要（議会報告会等に関する実施計画より抜粋）

①目的（広報機能）

定例会、議会の活動結果を市民に報告する。

②報告事項

ア) 総務委員会 報告者：久米原委員長

○報告内容「所管事項の説明、議案第15号 防災無線のデジタル化」

イ) 文教福祉委員会 報告者：後藤敦志委員長

○報告内容「幼児教育・保育無償化と高齢者の支援などについて」

ウ) 環境生活委員会 報告者：岡部委員長

○報告内容「6月・9月定例会中の審査内容、請願・陳情を含めて」

③会議次第

- | | |
|---------------|-------------|
| ア) 議長挨拶 | 鴻巣議長 |
| イ) 議員紹介 | 司会を務める山宮副議長 |
| ウ) 総務委員会 | 総務委員長 |
| エ) 文教福祉委員会 | 文教福祉委員長 |
| オ) 環境生活委員会 | 環境生活委員長 |
| カ) 報告に対する質疑応答 | 所管委員 |

④留意事項

- ア) 議会として発言し、内容は委員会及び本会議での審議経過にかかるものとする。
- イ) 質疑応答については、報告に対する質疑のみとする。

3. 意見交換会の概要（議会報告会等に関する実施計画より抜粋）

①目的（広聴機能）

議会活動に資する情報を取得するため、市民と議会が意見交換を行う。市民と議論をするのではなく主に意見を聴く場とする。

後日、全議員参加のもと、当日の内容を確認し情報共有を図る。

②テーマ

「～皆さまの声を聞かせてください～」とする。

③方法

ア) グループ方式

より多くの市民の意見を聴取できるよう議長を除き総務委員会6名（第3会議室）、文教福祉委員会8名（第1会議室）、環境生活委員会7名（第2会議室）の3グループ（分野）に別れ、それぞれの所管事項について対応する。

ただし、所管事項以外の分野であっても柔軟に対応する。

参加者は、興味があるグループ（分野）に移動して意見を発言する。また、途中移動も自由とする。

イ) 内容構成

A 時間は60分程度、30分で休憩を入れ、移動も促す。

B 前半は市民も入りやすい個別テーマ、後半はフリーテーマ。

C それぞれの常任委員会で前半の個別テーマを協議する。

ウ) 司会進行と書記（各常任委員会で選出）

A 司会進行は、各常任委員長とする。

B 書記は副委員長とする。

C 書記はグループ内での意見交換等を整理し文書にして報告する。

エ) 委員会構成

A 総務委員会 6名

個別テーマ 「防災・減災日本一のまちづくり」

久米原議員（司会）、加藤議員（書記）、札幌議員、金剛寺議員、滝沢議員、大竹議員

B 文教福祉委員会 8名

個別テーマ 「子育て環境日本一・スポーツ健幸日本一」

後藤敦志議員（司会）、山村議員（書記）、山宮議員、伊藤議員、石引議員、後藤光秀議員、油原議員、大野誠一郎議員

C 環境生活委員会 7名

個別テーマ 「安全・安心なまちづくり」

岡部議員（司会）、石嶋議員（書記）、大野みどり議員、櫻井議員、山崎議員、
椎塚議員、寺田議員、

④議員の発言

ア) 議員個人の見解は述べない。

イ) 議会で決定したことは議会として報告する。

⑤留意事項

議会報告会終了後、委員会ごとに別れ、意見交換会を始める。

個別テーマについて 30 分、休憩 5 分をはさみ、自由テーマについて 30 分行き、
午前 11 時 45 分程度を目途とする。

休憩の際には、他の委員会との意見交換も促す。

4. 議会報告会に対する質疑応答（要約）

参加者からの質問・意見・要望等	会場での回答・説明
<p>①予算について 財政は龍ヶ崎市にとって大事な問題です。予算と収支状況について説明をお願いします。</p>	<p>決算の概要につきましては、平成 31 年度一般会計の予算は 250 億 5,000 万円。特別会計の予算とあわせて 417 億 8,160 万円の予算になっています。</p> <p>予算額は年々、歳入の要である税収が低迷しており課題となっています。そのあたりは国の補助金なども活用できる方策もありますので、議会としても引き続きしっかり内容を精査していきます。</p> <p>（総務委員長 久米原孝子）</p>

<p>②防災アプリについて</p> <p>総務委員会の報告にありました資料4ページ防災無線「デジタル化で良くなること」で防災アプリが紹介されました。</p> <p>2017年の段階で茨城県境町がシステムを導入していることから防災アプリについての取り組みについてお聞かせください。</p>	<p>委託先を選定するにあたり5業者が手を上げていただき、その中から優れた提案を行った業者が選定されました。</p> <p>防災アプリにつきましては、今回の工事請負契約の中では詳しく明記はされていません。</p> <p>防災アプリは非常に有効な情報伝達手段と考えます。今後、このシステムにおいて、どのようなアプリが活用できるのか、よりよいアプリになるよう注視していきます。</p> <p>(総務委員長 久米原孝子)</p>
<p>③コミュニティバスについて</p> <p>私たちは、コミュニティバスの料金値上げに反対する請願を提出させていただきました。</p> <p>請願は憲法何条で保障されているのかお聞かせください。</p> <p>2点目は、請願の署名人数を。</p> <p>3点目は、先ほどの説明は請願に反対する趣旨の説明でしたので、請願に賛成した議員の意見についてお聞かせください。</p>	<p>日本国憲法 第16条で請願権について規定されています。</p> <p>署名人数につきましては、代表であります請願提出者、他1,022名の皆さまから提出されました。</p> <p>議会の審議のなかで「高齢者などは100円の値上げは負担が大きい」という意見。「交通、地域福祉の課題、地域活性化などにとっても地域公共交通は不可欠なものなので値上げをしないで料金据え置きで運営を」という意見がありました。</p> <p>(環境生活委員長 岡部賢士)</p>
<p>④コミュニティバスについて</p> <p>近所で話題になった案件です。普通に考えれば100円が200円に上がったというとんでもない話です。公共料金でも10%値上げするのも大変な話なのに倍になったことに驚きました。</p> <p>報告を聞きますと利便性が良くなったということは理解できますが、ただ事業</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>はじめに、経緯についてお答えさせていただきますと、龍ヶ崎市では市民アンケートを実施しており、その中では、現状、公共交通に不満という声が一番大きく、市民からは便利にしてほしいという要望が多かったものです。</p> <p>そういった要望に応えるべく地域公共</p>

<p>費を調べてみますとかなり増額しており市民の負担も増え、そして市の負担も増えると。大きな負担のシステムになっています。従来のまま運営していれば 100 円で済んだと。どういう経緯でこのような大きなシステムに変換されたのか。</p> <p>2 点目は、市役所を訪問し今回の改定の説明を受けましたが、地域に対するアンケートはとっていない。私たちの地域でも年代構成は変わるし、市内施設の立地も変わってきます。本来であればアンケートでニーズを把握したうえで具体的にプランを策定していく。そういったプロセスがみあたらないと感じました。今後は同じようなことはしてはいけないと感じましたので、ご見解をお聞かせください。</p>	<p>交通網形成計画を策定し、その計画のなかで、各地域ごとの細かなアンケートは収集していないと思いますが、なるべく多く各地域の声を聞きながらコミュニティバスの再編にあたったということです。</p> <p>今回、大幅に利便性を向上させたことで経費が増大してしまったわけですが、これから次の再編に向けた検証を進めていくなかで、コミュニティバスの在り方、料金について、皆さまの声を聞きながら検証していかないといけないということで議会でも議論していますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>(環境生活委員長 岡部賢士)</p>
<p>⑤コミュニティバスについて</p> <p>運賃が 100 円から 200 円になったという説明でした。</p> <p>150 円の選択肢は無かったのですか。</p>	<p>今回の再編では、バスの運行本数も倍に増便され、その他にも利便性を向上させたことにより事業費も倍以上に増額され、そういった実情のなか、増額分を市と実際に利用する受益者が負担することが検討され、結果運賃を 200 円でお願ひすることになったところです。</p> <p>利用者にとっては増額になりますが、その代わり乗継が 1 回無料でできたり、また、高齢な方や、障がいをおもちの方、学生等いわゆる交通弱者の方々につきましては定期券の値段据え置きなどの配慮もされている仕組みとなっています。</p> <p>(環境生活委員長 岡部賢士)</p>

5. 意見交換会の主な内容（要約）

◎総務委員会

参加者からの質問・意見・要望等	会場での回答・説明
<p>①防災・減災について</p> <p>災害時の職員体制については、例えば、24時間体制になると、8時間対応で3交代制が取られているかと思いますが、どのようになっているのでしょうか。</p>	<p>災害時の職員体制については、東日本大震災の際も3交代で24時間体制が取られていました。具体的には、6時から14時、14時から22時、22時から6時の3班体制が敷かれていました。</p> <p>また、ここ数年の災害対応で多いものは台風対策です。台風は地震の場合と異なり、突然来ることはありませんので、その台風の特徴や進路を見ながら、災害対策本部において具体的な対応策を検討しています。</p>
<p>②防災・減災について</p> <p>地震などの災害が発生した際、帰宅難民に関して何か対策があるのでしょうか。</p>	<p>東日本大震災が起きた際、常磐線が止まり、佐貫駅に留め置かれた乗客が佐貫駅に近い馴染コミュニティセンターに押し寄せ、数百人の皆さんが避難されたことが思い出されます。また、鉄道が不通となり帰宅できない龍ヶ崎市民の対応も課題となります。この問題については、議会の一般質問でも複数の議員が取り上げています。</p>
<p>③防犯カメラについて</p> <p>防犯カメラの設置については、どのようになっているのでしょうか。</p>	<p>防犯カメラについては、警察署と協議の上で市（役所）が設置するものと、区や自治会、町内会などの住民自治組織が市（役所）に補助金の申請を行い、自治会などの住民自治組織自らが設置するものの2種類があります。一つの組織が申請できるのは、3台までで、補助率2/3、補助金の上限が20万円となります。</p>

	<p>但し、この補助申請が出来る組織（の要件）は、（1年以上の）活動実態があることが必要です。</p>
<p>④地域コミュニティの補助金について 地域コミュニティに交付される補助金は、余った場合に繰り越しできるのでしょうか。</p>	<p>市（役所）からの補助金のみで地域コミュニティ活動を行っている場合は、余剰金が発生した場合は市（役所）に返還していただくこととなり、繰り越しは出来ません。</p> <p>地域コミュニティによっては、市（役所）からの補助金に加えて区や自治会、町内会などの組織から負担金を集めて全体予算を立てている事例も見られます。こういった地域コミュニティでは、市（役所）からの補助金を満額事業費に充て、区や自治会、町内会などの組織から集めた負担金の残金を繰り越ししているようです。</p>
<p>⑤予算の決め方について 予算は、どのようなプロセスを経て決定されるのか。また、予算は、市議会の各委員会から案を出すのか。</p>	<p>予算案については、市役所（執行部）が作成します。単年度の予算案で言えば、毎年10月初旬に（市長から）次年度の予算編成方針が出され、その後、市役所内で予算案の検討がなされ、3月の市議会に次年度の予算案が議案として提出されます。その予算案は、市議会の予算審査特別委員会で審議され、市議会の最終日に議決されれば次年度の予算が確定します。</p> <p>なお、予算案に盛り込む様々な（大型あるいは主要）事業については、中期5か年計画に位置付けられていることが原則となります。</p>

<p>⑥道の駅について</p> <p>道の駅については、現在、どうなっているのでしょうか。</p>	<p>道の駅については、護岸改修の工法の見直しにより事業全体の見直しが検討されています。市議会としても道の駅（整備）の全体像が分からない状況ですが、多くの議員がこの問題に関心を持っており、現在の状況を厳しい目で見えています。</p>
<p><参加者からのその他の意見・要望等></p>	
<p>⑦災害時のコミュニケーションをとるツールとしてファイブ・ゼロ・ジャパンがあるが、龍ヶ崎市は導入しているのか。</p>	
<p>⑧市の補助金により防犯カメラを設置する際の住民自治組織の負担を減らしてほしい。</p>	
<p>⑨その他にも防災や道の駅に関する様々な意見があった。</p>	

◎文教福祉委員会

参加者からの質問・意見・要望等	会場での回答・説明
<p>①高齢者施設の入所について</p> <p>市内在住の方から、将来市内の施設に入所するにあたり、「市外の方が入っているからもう入れません」という状況が起こりうるのは腑に落ちません。</p>	<p>施設によっては、市内外の入居者割合が決まっているところもありますが、国が制度としている介護施設は広域性がありこのような状況が起きてしまいます。</p> <p>「龍ヶ崎の人が市外施設への入所も可能なため、自分の子どもが市外に住んでいる場合など、その近くの施設に入所できる」というメリットもあります。</p> <p>地域密着型であるグループホームがありますが、市内の方しか入れない特性ゆえ部屋が空いている実状があります。自己の状況も踏まえ、これを選択肢の1つとすることも可能です。</p>

<p>②子どもの医療費について</p> <p>子どもに対する医療費は完全無償にならないのか。(現在は月2回限度の600円となっている)</p>	<p>医療福祉制度については、現在は収入条件なしで対象年齢枠を高校生までに拡げています。</p>
<p>③学童保育の質について</p> <p>子どもたちが学童に行きたいといえるような質の高い施設にならないか。</p>	<p>支援員により質のばらつきをなくすため、来年度からしっかりとした支援が期待できる民間企業への委託となります。これにより質の改善が期待できます。</p>
<p>④あたらしい学校づくりについて</p> <p>教員への働き方改革として、ゆとりをもった仕事ができるために、学校任せにしているところを市ではどのような方法をとろうとしているのか。コンサルタントを入れるなど具体的なアクションを起こしてほしい。</p> <p>学校の保護者等でICTに強い方のヘルプを受けいれるようなスクールサポートの仕組みも必要ではないか。</p> <p>つくば市には膨大な実績があります。これを共有することはできないか。</p>	<p>教員の働き方改革については、民間企業の力を借りることも対策の1つかと考えます。</p> <p>教員によりICTに関する理解度、積極性に相違があることも事実です。</p> <p>つくば市のもつ実績について、共有していただくことは良い考えです。</p> <p>ICTに関し、先進的に取り組むつくば市と龍ヶ崎市には温度差があるように感じます。</p>
<p><参加者からのその他の意見・要望等></p>	
<p>⑤スクールゾーンについて</p> <p>○交通量が多い一部のスクールゾーンに危険な場所がある。</p> <p>○父兄による見守りの必要な場所が存在する。</p> <p>○安全面で考慮の必要な遊歩道がある。</p>	

⑥あたらしい学校づくりについて

○小中一貫教育に伴う9年間カリキュラムの全体像、方針、具体的進め方がわかりません。

○一人1台のタブレット方式で、先生の個別指導が生徒の自主学習に変わります。特定の学校で理解度の分析、補正を行い検証してはどうか。

○どれだけICTに取り組もうとするかの首長の考えが大事です。

◎環境生活委員会

参加者からの質問・意見・要望等	会場での回答・説明
<p>①コミュニティバスについて ルートについてですが、ルートをどの様にして決めたのでしょうか。</p>	<p>循環バスの増便や乗り継ぎなどの利便性の向上を考えてのルート作成だと思います。ただ、循環バスについては、良い評価を頂いていますが枝線については、本数が減っているとのことご意見もいただいております。</p>
<p>②コミュニティバスについて 循環バスについてですが、内回り外回り共にバス停を増設したようですが、何故循環時間は変わらないのでしょうか。</p>	<p>時間調整する箇所を設けているので、時間が変わらないのだと思います。ただ、無理に急かしたりして事故などが起きないように、我々も今後執行部に安心安全の面は伝えていきます。</p>
<p>③コミュニティバスについて 竜ヶ崎駅の電車の時間とコミュニティバスの時間がうまく接続できていない状況です。</p>	<p>次の再編に向けた検証を進めていくなかで注視していきます。</p>
<p>④コミュニティバスについて バスが強化されると、竜ヶ崎線に乗る人がいなくなり電車が無くなってしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>大学や高校も少子化の影響で学級数が減り、乗降客が2,000人を切っています。市民の地域交通を担う事業者でありますので、そのような事態にならないよう、市との連携は大切と考えます。</p>

<p>⑤コミュニティバスについて 走行する距離を短くして、100 円で乗れるようにしたらどうでしょうか。</p>	<p>まずは始まったばかりですので、今後の状況を見ながら次の再編に向けた検証を行っていきなかにコミュニティバスの在り方、料金等についてはしっかりと検証していかなければならないと考えています。</p>
<p>⑥コミュニティバスについて 売り上げはどこの収入になりますか。</p>	<p>運営会社の収入になり、運営に充てられています。</p>
<p><参加者からのその他の意見・要望等></p>	
<p>⑦議会に於いて、道の駅についてもっと追求した議論をして頂きたい。</p>	
<p>⑧駅名改称について、元々龍ヶ崎市に住んでいる方と、引っ越してきた方の温度差が凄くあると感じます。</p>	
<p>⑨公園の樹木剪定業者が、丁寧な仕事をする業者と雑な業者がいるので担当課の方に確認しに来ていただきたい。</p>	
<p>⑩もっと聞きに行きたい、そのような期待できる議会にして頂きたい。</p>	

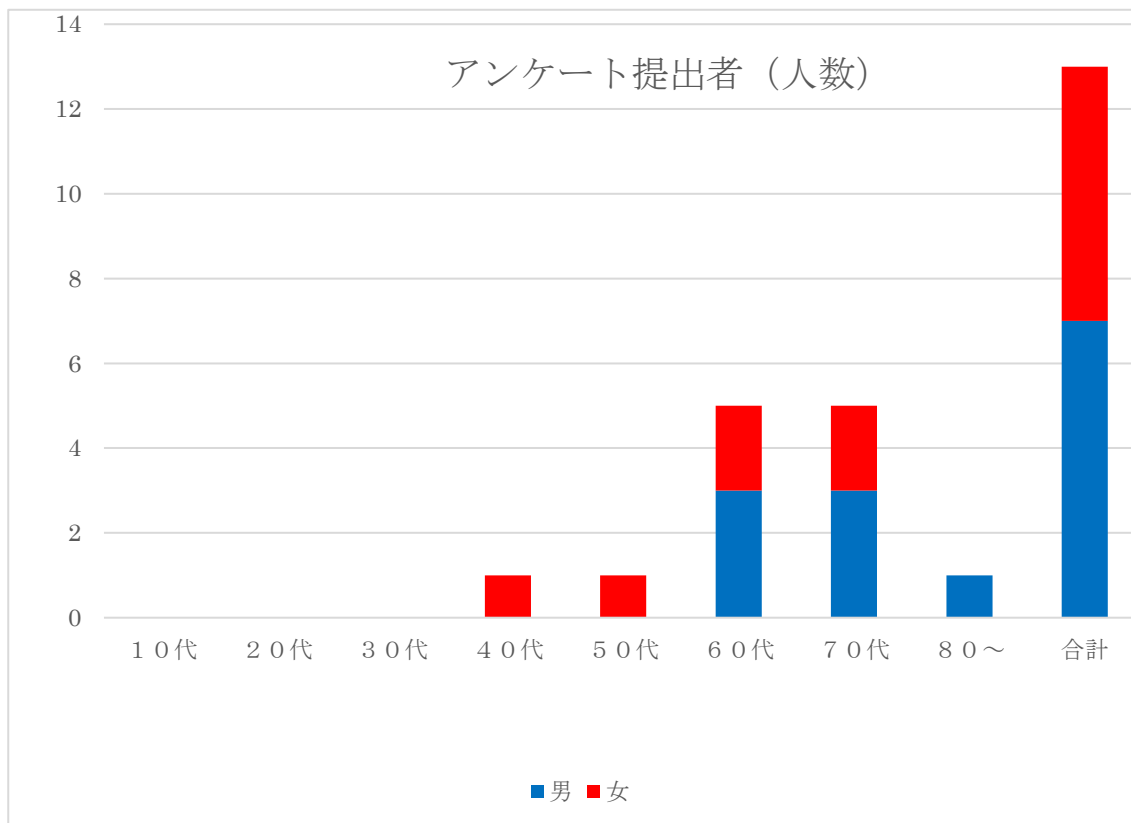
6. お寄せいただいたご意見等の取扱いについて

- ①当日いただいた貴重なご意見等については、全議員で共有し各議員がそれぞれの判断の下で議員活動に活用するように努める。
- ②議会に関していただいたご意見等は、今後の議会運営の参考とさせていただく。
- ③情報共有の観点から、「当日資料」「議会報告会・意見交換会の開催結果」「アンケート集計結果」については、市長に報告するとともに市議会公式ホームページ上で報告を行う。

7. アンケート結果

(1) 参加者について (提出者13名)

	男	女	合計
10代	0	0	0
20代	0	0	0
30代	0	0	0
40代	0	1	1
50代	0	1	1
60代	3	2	5
70代	3	2	5
80～	1	0	1
合計	7	6	13



(2) 何でお知りになりましたか？ (複数回答者3名)

①議会だより	2名
②りゅうほー	2名
③議会ホームページ	1名
④SNS	2名
⑤佐貫駅デジタルサイネージ	0名
⑥チラシ・ポスター	1名
⑦知り合いから	2名
⑧議員から	6名
⑨その他	0名
未回答	0名

(3) これまでの参加

①参加	6名
②報告会のみ参加	1名
③意見交換会のみ参加	1名
④今回初参加	6名
未回答	0名

(②、③の1名は同一回答者)

(4) 今回、参加された理由 (複数回答者1名)

①市議会に関心があるから	10名
②市議会に意見があるから	4名
③人に誘われたから	0名
④なんとなく	0名
⑤その他	0名
未回答	0名

(5) 日時・会場について

①これで良い	12名
②変更したほうが良い	1名(午後は落ち着きます。13～17時位はやるべき。)
未回答	0名

(6) 参加しての感想

議会報告会について

①良かった	10名
②悪かった	0名
③よく分からない	3名
④その他	0名
未回答	0名

意見交換会について

①良かった	12名
②悪かった	0名
③よく分からない	1名
④その他	0名
未回答	0名

(7) 市議会に望むこと (複数回答3名)

①もっと広報をしてほしい	4名
②市民の意見を聞く機会をつくってほしい	7名
③政策提言をしてほしい	0名
④傍聴しやすい環境をつくってほしい	3名
⑤その他	2名
(財政が心配。今回のような市民と意見交換をする場を増やしてほしい。)	
未回答	1名

(8) 市議会が市民の声を反映していると思いますか？

①思う	3名
②思わない	6名 (市民の声をもっと聞くべき。)
③分からない	2名
④その他	2名
(少しは反映している。3ヶ月に1回、全住民に市政アンケートをやってください。)	
未回答	0名

(9) その他お気づきの点があれば、ご自由にお書きください。

- 若い人が少ないです。流通経済大学生や高校生にも声をかけるのがベター。
- 議員さんが全員参加する必要があるのでしょうか。5～10人くらいで良いのではないか。市議会でもないことから・・・
- 1部の報告会についての質疑応答はやめたらどうか。質疑応答は2部(分科会)でやる方が良い。でないと、1部で全部終わってしまう。
- 住民税、国保料、水道代を安くしてください。高齢者には大変きついです。
- 龍ヶ崎の市内と工業団地との接点が殆どない(案内がない)。
 - ・ 駅と工業団地とのシャトルバスがない。
 - ・ コンビニがない。
 - ・ 会食できる場所がない。
- 龍ヶ崎の発展には、企業の発展がかかせない。特にイトーヨーカドー、つくばの里工業団地は重要拠点です。魅力のある便利な工業団地の整備が必要。